

令和8年産水稻の8月15日現在における
10a 当たり収量の平均比見込み及び前年比見込み

10a 当たり収量の平均比見込みは、「やや上回る」が24道府県、「平均並み」が19都県、「やや下回る」が3県
10a 当たり収量の前年比見込みは、「やや上回る」が5道府県、「前年並み」が20都県、「やや下回る」が21府県

- 気象データ（降水量、気温、日照時間、風速等）及び人工衛星データ（降水量、地表面温度、日射量、植生指数等）から作成される予測式に基づき予測した。

【予測結果の概要】

1 10a 当たり収量の平均比見込み

- 令和8年産水稻の10a 当たり収量の平均比見込みは、「やや上回る」が24道府県、「平均並み」が19都県、「やや下回る」が3県となった。
- これは、一部の地域で7月及び8月の日照不足や多雨の影響が見られるものの、田植期（5月）以降、総じて多照で推移したためである。

表1 10a 当たり収量の平均比見込み（区分ごとの都道府県数）

10a 当たり収量の平均比見込み	都道府県数
上回る（対平均比106%以上）	0
やや上回る（対平均比105%～102%）	24
平均並み（対平均比101%～99%）	19
やや下回る（対平均比98%～95%）	3
下回る（対平均比94%以下）	0

- 徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県は早期栽培を含まない普通栽培のみの10a 当たり収量の平均比見込みである。
- 沖縄県については、第二期稲の田植えが終了していないことから含んでいない。
- 10a 当たり収量の平均比見込み（8月15日現在）は、その後の気象が、前年並みに推移するものとして予測を行ったものであることに留意が必要である。

○ 10 a 当たり収量の平均比見込みは、気象データ及び人工衛星データを説明変数、10 a 当たり収量を目的変数として予測式（重回帰式）を作成し、予測したものである。なお、10 a 当たり予想収量は、8 月15日現在では未確定の要素が多いことから公表することとしていない。

表2 令和8年産水稻 10 a 当たり収量の平均比見込み（8 月 15 日現在）

区 分	10 a 当たり収量の 平均比見込み	区 分	10 a 当たり収量の 平均比見込み
北 海 道	やや上回る	三 重	平均並み
青 森	やや下回る	滋 賀	やや上回る
岩 手	やや下回る	京 都	やや上回る
宮 城	平均並み	大 阪	やや上回る
秋 田	平均並み	兵 庫	平均並み
山 形	やや上回る	奈 良	やや上回る
福 島	平均並み	和 歌 山	やや上回る
茨 城	平均並み	鳥 取	やや上回る
栃 木	平均並み	島 根	やや上回る
群 馬	平均並み	岡 山	やや上回る
埼 玉	やや上回る	広 島	平均並み
千 葉	やや下回る	山 口	平均並み
東 京	平均並み	徳 島（普通栽培）	やや上回る
神 奈 川	平均並み	香 川	平均並み
新 潟	やや上回る	愛 媛	平均並み
富 山	やや上回る	高 知（普通栽培）	やや上回る
石 川	やや上回る	福 岡	やや上回る
福 井	やや上回る	佐 賀	やや上回る
山 梨	やや上回る	長 崎	やや上回る
長 野	平均並み	熊 本	やや上回る
岐 阜	平均並み	大 分	平均並み
静 岡	平均並み	宮 崎（普通栽培）	やや上回る
愛 知	平均並み	鹿 児 島（普通栽培）	やや上回る

注：1 10 a 当たり収量の平均比見込みとは、10 a 当たり予想収量が10 a 当たり平均収量（前年産までの5 か年中3 年平均（最高、最低除く））と比較して多いか少ないかを表している。
2 本表における10 a 当たり収量の平均比見込み区分は、「上回る」が対平均比106%以上、「やや上回る」が105～102%、「平均並み」が101～99%、「やや下回る」が98～95%、「下回る」が94%以下に相当する。
3 徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県は早期栽培を含まない普通栽培のみの平均比見込みである。

2 10a 当たり収量の前年比見込み

- 令和8年産水稻の10a 当たり収量の前年比見込みは、「やや上回る」が5道府県、「前年並み」が20都県、「やや下回る」が21府県となった。
- これは、田植期（5月）以降、総じて多照で推移しているものの、一部の地域において、6月から7月の日照時間が前年を下回ったためである。

表3 10a 当たり収量の前年比見込み（区分ごとの都道府県数）

10a 当たり収量の前年比見込み	都道府県数
上回る（対前年比106%以上）	0
やや上回る（対前年比105%～102%）	5
前年並み（対前年比101%～99%）	20
やや下回る（対前年比98%～95%）	21
下回る（対前年比94%以下）	0

注：前年（令和7年）産の作況単収指数は102である。

- 徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県は早期栽培を含まない普通栽培のみの10a 当たり収量の前年比見込みである。
- 沖縄県については、第二期稲の田植えが終了していないことから含んでいない。
- 10a 当たり収量の前年比見込み（8月15日現在）は、その後の気象が、前年と同様に推移するとの前提ではなく、平年並みに推移するものとして予測を行ったものであることに留意が必要である。
- 10a 当たり収量の前年比見込みは、気象データ及び人工衛星データを説明変数、10a 当たり収量を目的変数として予測式（重回帰式）を作成し、予測したものである。なお、10a 当たり予想収量は、8月15日現在では未確定の要素が多いことから公表することとしていない。

表4 令和8年産水稻10a当たり収量の前年比見込み（8月15日現在）

区 分	10 a 当たり収量の 前年比見込み	区 分	10 a 当たり収量の 前年比見込み
北 海 道	やや上回る	三 重	前年並み
青 森	やや下回る	滋 賀	やや下回る
岩 手	やや下回る	京 都	やや下回る
宮 城	前年並み	大 阪	やや上回る
秋 田	前年並み	兵 庫	やや下回る
山 形	前年並み	奈 良	前年並み
福 島	やや下回る	和 歌 山	やや下回る
茨 城	前年並み	鳥 取	やや下回る
栃 木	前年並み	島 根	やや下回る
群 馬	前年並み	岡 山	前年並み
埼 玉	やや上回る	広 島	やや下回る
千 葉	やや下回る	山 口	やや下回る
東 京	前年並み	徳 島（普通栽培）	やや下回る
神 奈 川	前年並み	香 川	やや下回る
新 潟	前年並み	愛 媛	やや下回る
富 山	やや上回る	高 知（普通栽培）	やや下回る
石 川	前年並み	福 岡	前年並み
福 井	前年並み	佐 賀	やや下回る
山 梨	やや上回る	長 崎	前年並み
長 野	前年並み	熊 本	前年並み
岐 阜	やや下回る	大 分	やや下回る
静 岡	やや下回る	宮 崎（普通栽培）	前年並み
愛 知	前年並み	鹿 児 島（普通栽培）	やや下回る

注：1 10 a 当たり収量の前年比見込みとは、10 a 当たり予想収量が前年の10 a 当たり収量と比較して多いか少ないかを表している。

2 本表における10a当たり収量の前年比見込み区分は、「上回る」が対前年比106%以上、「やや上回る」が105～102%、「前年並み」が101～99%、「やや下回る」が98～95%、「下回る」が94%以下に相当する。

3 徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県は早期栽培を含まない普通栽培のみの前年比見込みである。

◎ 累年データ

表 1 水稻の年次別推移（全国）

年 産	作付面積 （主食用）	生産者が使用している ふるい目幅で選別			ふるい目幅 1.70mmで選別		作 付 面 積 （子実用）	ふるい目幅 1.70mmで選別	10 a 当たり 平均収量	作況単収 指数
		10 a 当たり 収 量	対前 年 比	収 穫 量 （主食用（生 産者ふるい上 米））	10 a 当たり 収 量	収 穫 量 （主食用（生 産者ふるい下 米含む））		収 穫 量 （子実用）		
	ha	kg	%	t	kg	t	ha	t	kg	
平成28年産	1,381,000	531	103	7,322,000	544	7,496,000	1,478,000	8,042,000	536	101
29	1,370,000	517	97	7,077,000	534	7,306,000	1,465,000	7,822,000	538	99
30	1,386,000	511	99	7,081,000	529	7,327,000	1,470,000	7,780,000	536	99
令和元	1,379,000	514	101	7,061,000	528	7,261,000	1,469,000	7,762,000	534	99
2	1,366,000	508	99	6,906,000	531	7,226,000	1,462,000	7,763,000	515	99
3	1,303,000	515	101	6,698,000	539	7,007,000	1,403,000	7,563,000	514	100
4	1,251,000	511	99	6,390,000	536	6,701,000	1,355,000	7,269,000	513	100
5	1,242,000	515	101	6,390,000	533	6,610,000	1,344,000	7,165,000	512	101
6	1,259,000	519	101	6,519,000	540	6,792,000	1,359,000	7,345,000	513	101
7	1,367,000	526	101	7,181,000	547	7,468,000	1,425,000	7,790,000	514	102

資料：農林水産省統計部『作物統計』

- 注：1 作付面積（主食用）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
- 2 生産者が使用しているふるい目幅で選別された10 a 当たり収量及び収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は、生産者が使用しているふるい目幅で選別された玄米の重量である。
- 3 生産者が使用しているふるい目幅は、以下による。
平成28年産から令和元年産まで： 全国農業地域ごとに、過去5か年に農家等が使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでの目幅である。
令和2年産以降： 都道府県ごとに、過去5か年に農家等が使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅である。
- 4 ふるい目幅1.70mmで選別された10 a 当たり収量及び収穫量（主食用（生産者ふるい下米含む））は、ふるい目幅1.70mmで選別された玄米の重量である。
- 5 作付面積（子実用）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から青刈り面積（飼料用米・WCS用稲等を含む。）を除いた面積である。
- 6 10 a 当たり平均収量とは、10 a 当たり収量の過去5か年のうち、最高、最低を除いた3か年の平均値である。
- 7 作況単収指数は、10 a 当たり平均収量に対する10 a 当たり収量の比率である。
また、平成28年産から令和元年産までの10 a 当たり平均収量及び作況単収指数は1.70mmのふるい目幅で選別された玄米を基に算出し、令和2年産以降の10 a 当たり平均収量及び作況単収指数は生産者が使用しているふるい目幅ベースで算出した数値である。

表2 水稻の10a当たり平均収量及び作況単収指数の推移（都道府県）

区 分	最も多い使用割合の目幅	令和3年産		4		5		6		7	
		10a当たり平均収量	作況単収指数	10a当たり平均収量	作況単収指数	10a当たり平均収量	作況単収指数	10a当たり平均収量	作況単収指数	10a当たり平均収量	作況単収指数
	mm	kg		kg		kg		kg		kg	
北海道	1.90	534	107	545	103	554	100	558	101	561	98
青森	1.90	582	100	583	97	584	101	590	101	590	101
岩手	1.90	521	101	523	97	523	102	528	103	530	101
宮城	1.90	517	101	515	99	515	104	521	106	528	99
秋田	1.90	555	100	551	94	545	96	547	101	544	103
山形	1.90	580	102	582	96	581	97	583	95	572	102
福島	1.85	538	100	537	99	537	101	539	101	541	102
茨城	1.85	498	105	505	101	508	101	514	102	518	98
栃木	1.85	515	101	515	97	515	104	515	101	520	100
群馬	1.80	484	98	480	101	481	103	481	100	483	101
埼玉	1.80	477	103	479	101	481	98	481	96	481	96
千葉	1.80	527	102	527	102	529	104	534	105	541	101
東京都	1.80	400	99	396	104	399	104	400	101	404	101
神奈川県	1.80	473	99	468	103	468	104	472	98	472	102
新潟	1.85	526	96	514	102	521	96	521	99	516	102
富山	1.90	527	98	520	101	523	98	522	99	518	99
石川	1.90	512	100	511	101	514	99	502	99	500	101
福井	1.90	486	98	483	100	482	99	480	103	480	103
山梨	1.85	528	98	523	99	520	103	511	101	511	100
長野	1.85	602	96	597	99	593	101	593	102	593	103
岐阜	1.80	471	99	468	102	468	102	472	100	472	103
静岡県	1.85	503	98	499	100	497	103	493	96	485	104
愛知県	1.85	485	99	480	102	480	98	477	101	476	101
三重	1.85	463	102	462	106	470	103	472	99	475	104
滋賀	1.90	480	101	480	101	480	98	479	101	481	105
京都	1.85	488	100	486	102	486	101	487	105	491	106
大阪	1.80	483	99	479	102	479	102	483	98	479	100
兵庫	1.85	474	99	471	103	471	101	474	100	474	105
奈良	1.80	503	100	501	102	501	101	504	103	507	104
和歌山	1.80	486	100	482	106	482	103	488	102	494	106
鳥取	1.85	498	97	492	100	491	96	491	100	490	106
島根	1.90	488	99	484	100	482	101	482	101	484	106
岡山	1.85	494	101	491	101	490	101	494	100	496	103
広島	1.85	501	100	497	103	497	105	497	104	509	104
山口	1.85	479	101	477	105	479	103	476	104	492	107
徳島（普通栽培）	1.80	469	97	462	102	464	102	467	101	472	108
香川	1.80	469	103	469	105	474	102	483	100	484	104
愛媛	1.80	460	106	462	106	465	104	481	102	494	104
高知（普通栽培）	1.80	402	101	398	104	398	103	401	100	405	106
福岡	1.85	448	100	443	103	439	104	439	101	448	107
佐賀	1.85	459	106	458	105	453	110	453	106	483	107
長崎	1.80	462	100	455	97	446	107	446	106	458	107
熊本	1.85	478	97	469	98	459	108	459	106	471	107
大分	1.85	455	104	452	104	449	107	430	107	456	107
宮崎（普通栽培）	1.80	476	101	475	98	468	102	466	101	470	103
鹿児島（普通栽培）	1.80	463	102	462	100	460	105	460	100	465	105

資料：農林水産省統計部『作物統計』

- 注：1 10a当たり平均収量とは、10a当たり収量の過去5か年のうち、最高、最低を除いた3か年の平均値である。
2 生産者が使用しているふるい目幅は、都道府県ごとに、過去5か年に農家等が使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅である。
3 作況単収指数は、10a当たり収量の前年産までの5か年中3年平均（最高、最低除く）に対する10a当たり収量の比率である。
4 なお、10a当たり平均収量及び作況単収指数は生産者が使用しているふるい目幅ベースで算出した数値である。

表3 水稻の年次別推移（都道府県）

区 分	最も多い使用割合の目幅	令和3年産		4		5		6		7	
		10a当たり収量	対前年比	10a当たり収量	対前年比	10a当たり収量	対前年比	10a当たり収量	対前年比	10a当たり収量	対前年比
	mm	kg		kg		kg		kg		kg	
北海道	1.90	570	102	563	99	555	99	562	101	549	98
青森	1.90	584	97	567	97	587	104	598	102	596	100
岩手	1.90	528	100	508	96	535	105	546	102	533	98
宮城	1.90	520	99	511	98	537	105	550	102	525	95
秋田	1.90	555	98	517	93	524	101	552	105	559	101
山形	1.90	592	100	560	95	564	101	553	98	585	106
福島	1.85	536	99	530	99	542	102	546	101	554	101
茨城	1.85	521	100	509	98	513	101	523	102	508	97
栃木	1.85	520	100	497	96	537	108	521	97	521	100
群馬	1.80	476	99	486	102	494	102	483	98	488	101
埼玉	1.80	489	100	484	99	472	98	463	98	464	100
千葉	1.80	539	102	535	99	550	103	559	102	546	98
東京都	1.80	394	100	412	105	414	100	405	98	408	101
神奈川県	1.80	470	101	481	102	486	101	463	95	482	104
新潟	1.85	507	94	525	104	502	96	515	103	525	102
富山	1.90	515	96	523	102	511	98	515	101	512	99
石川	1.90	500	99	502	100	499	99	495	99	507	102
福井	1.90	478	99	481	101	475	99	494	104	496	100
山梨	1.85	504	99	509	101	526	103	518	98	511	99
長野	1.85	579	98	589	102	601	102	604	100	612	101
岐阜	1.80	466	102	477	102	476	100	474	100	485	102
静岡県	1.85	488	106	494	101	507	103	472	93	505	107
愛知	1.85	480	102	488	102	468	96	480	103	482	100
三重	1.85	474	103	489	103	483	99	468	97	493	105
滋賀	1.90	483	102	487	101	470	97	484	103	505	104
京都	1.85	486	100	497	102	489	98	512	105	520	102
大阪	1.80	476	106	489	103	489	100	472	97	481	102
兵庫	1.85	468	103	487	104	478	98	475	99	498	105
奈良	1.80	502	109	512	102	507	99	517	102	526	102
和歌山	1.80	484	109	511	106	498	97	500	100	526	105
鳥取	1.85	485	98	494	102	469	95	491	105	517	105
島根	1.90	483	101	485	100	489	101	485	99	515	106
岡山	1.85	498	105	496	100	497	100	496	100	513	103
広島	1.85	502	106	511	102	522	102	515	99	529	103
山口	1.85	485	139	502	104	493	98	497	101	528	106
徳島（普通栽培）	1.80	457	96	473	104	471	100	472	100	511	108
香川	1.80	485	101	493	102	485	98	481	99	502	104
愛媛	1.80	498	111	505	101	493	98	491	100	512	104
高知（普通栽培）	1.80	407	105	412	101	408	99	400	98	430	108
福岡	1.85	447	122	456	102	458	100	442	97	478	108
佐賀	1.85	487	124	479	98	500	104	482	96	515	107
長崎	1.80	460	116	442	96	477	108	472	99	492	104
熊本	1.85	465	109	461	99	496	108	487	98	504	103
大分	1.85	457	133	451	99	470	104	459	98	488	106
宮崎（普通栽培）	1.80	483	106	465	96	476	102	470	99	484	103
鹿児島（普通栽培）	1.80	474	107	463	98	482	104	458	95	490	107

資料：農林水産省統計部『作物統計』

注：10a当たり収量は、生産者が使用しているふるい目幅で選別された玄米の重量である。

【統計表】

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files/data?sinfid=000040477274&ext=xls>

【水稻の10a 当たり収量の平均比見込み及び前年比見込みの概要】

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/gaiyou/

【水稻の 10a 当たり収量の平均比見込み及び前年比見込み並びに水稻調査結果の主な活用】

- ・ 主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律（平成6年法律第113号）に基づき毎年定めることとされている米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針の策定のための資料
- ・ 「食料・農業・農村基本計画」における品目ごとの生産量や作付面積等のKPIの設定及び検証のための資料
- ・ 米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）の交付金算定のための資料
- ・ 農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく農作物共済事業の適切な運営のための資料

【ホームページ掲載案内】

本資料は農林水産省ホームページの統計情報に掲載している分野別分類「作付面積・生産量、家畜の頭数など」、品目別分類「米」の「作況調査（水陸稲、麦類、大豆、そば、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）」で御覧いただけます。

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/#y2

【関連リンク】

農業生産振興関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞農産局

<https://www.maff.go.jp/j/nousan/>

お問合せ先

◎本統計について

農林水産省 大臣官房統計部
生産流通消費統計課 普通作物統計班
電話：（代表）03-3502-8111 内線3682
（直通）03-3502-5687

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部
統計企画管理官 統計広報推進班
電話：（代表）03-3502-8111 内線3589
（直通）03-6744-2037



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>



SAFF

データの力で。
農林水産統計
Statistics of Agriculture,
Forestry and Fisheries

○オンラインコミュニティ「みのりボイス」の開設について

水稻生産者や関係機関の皆様が参加できるオンラインコミュニティ「みのりボイス」を開設しました。生産者・農業関係者ならどなたでも参加でき、皆様から共有いただいた全国各地の生育状況や被害情報などを地図上で確認できるほか、農業ニュースや気象情報も閲覧でき、日々の営農判断にもご活用いただけます。

以下のURLまたは右側の二次元コードから、ぜひご参加ください。

<https://minor-voice.maff.go.jp/lp/>



○水稻収穫量調査の試行調査について

一部の水稻生産者の方を対象に水稻収穫量調査の試行調査を実施しております。

調査時期 令和8年9月、10月、11月の3回

調査方法 統計調査員による聞き取り、オンライン、郵送のいずれか

オンライン、郵送調査は農林水産省作物統計調査第2次試行調査事務局により実施します。

お忙しいところ大変お手数をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。



2027年国際園芸博覧会
2027.3.19-9.26 横浜・上瀬谷

